

国語科学習指導案

単元名「心の動きを言葉にして、詩を書こう」

教材名「感動を言葉に」〔学指要領：知(1)才、思B(1)ア・エ〕

令和〇年〇月〇日(〇) 第〇校時 〇〇〇〇教室

〇〇立〇〇小学校 4年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(1)オ	・報告文や感想文を書く際に、自分の思いを伝えるための適切な言葉を選ぶことができる児童は多い。
思考力、判断力、表現力等	・相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。B(1)ア ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えることができる。B(1)エ	・自分の思いを表現したり、伝えたい内容に沿って記述したりすることはできるが、相手や目的を意識して詩を書く機会はまだない。 ・書いた文を読み返して、文末表現や誤字脱字を修正することはできるが、相手や目的を意識した文にするために、適切な文末やよりよい表現に修正できる児童は少ない。
学びに向かう力、人間性等	・言葉がもつよさに気付くとともに、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	・友達からの指摘を受け、文や文章を修正することはできるが、充分吟味した上で修正しようとする児童は少ない。

2 評価規準

知識・技能	①様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。
思考・判断・表現	①「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ②「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。
主体的に学習に取り組む態度	①粘り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、学習の見通しをもって、心を動かされたときのことを詩に書こうとしている。

3 指導及び評価、ICT活用の計画(全7時間：本時第6時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	・家族に向けた詩を書くという言語活動を捉え、単元の課題をつかむ。(あ) 単元の課題 家族に自分の感動が伝わるように、表現を確認めたり整えたりしながら詩を書こう。			①
2	・感動を伝える家族を決め、詩で表現するために必要な事柄を集める。(あ)(い)		①	
3	・伝えたい内容に応じて、詩の組み立てを決める。(い)		□	
4,5	・感動の気持ちを表す言葉を選んだり、組み合わせたりして詩を書く。	①		
6	・自分の感動が相手に伝わる詩になるように推敲する。(い)		②	
家庭	・家族に詩を読んでもらい、感想シートに記入してもらおう。			
7	・友達との感想の交流や、家族からの感想を基にして、学習の振り返りをする。			①

*活用する学習支援ソフト等：(あ) カメラ機能、画像 (い) Google Jamboard

□本単元の目標には、B(1)イは含まれないが、その学習状況を評価して指導に生かす。

4 言語活動の価値

「家族に自分の感動を伝える詩を書く」という言語活動において、児童は感動というテーマに合った言葉を表現することで、豊かな語彙を身に付けることができると考える。児童は、詩という少ない言葉で感動を伝えるために、語彙を駆使したり、様々な材料を比較したりする中で、表現する言葉を検討することとなる。また、家族から伝える相手を1人決め、相手の年齢や立場に応じて詩を見直し、整えることで、推敲する力を高めることもできる。そして、相手に感動が伝わったという経験をする中で、推敲することのよさを実感できると考える。

II 本時の学習（6／7）

1 ねらい 自分の感動が相手に伝わるかを言葉の順序や表現の工夫等に着目し、友達と交流することを通して、自分で間違いを正したり、表現を確かめたりして、より感動を伝える詩に整えることができるようにする。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 予想される児童の意識〔S〕	主な発問 ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> 言葉や表現に着目して、自分の感動をより伝えるために詩を整えよう。</p> </div> <p>S：「感動を伝える」には、どうすればいいのかな。まずは、言葉や漢字の間違いを直してみようかな。</p>	<p>○本時のめあてをつかむことができるように、前時までに書いた詩で、本当に家族に感動が伝わるかを問いかける。</p> <p>○本時のめあてを達成する見通しがもてるように、これまでの学習で作成した、「たとえ」や「言葉の順序」などが示された「大詩人のコツ」を基に、推敲の観点を確認するよう促す。【★提示・配布】</p>
<p>2 前時までに作成した詩を、観点を基に個人で推敲する。（10分） 【★思考の補助】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「自分の感動を伝えるために、どのような言葉や表現を使えば、よりよくなるでしょうか。」</p> </div> <p>S：辞書で調べても間違った言葉や漢字はないな。でも、「大詩人のコツ」の観点にあった「たとえ」を使って、「すごく緊張した」を「心臓の音が響いた」に変えると、その時の様子をもっと伝わるかな。</p> <p>S：声に出して読んでみたけれど、「様子を表す言葉」を、たくさん使いすぎてしまうと、運動会の感動が伝わりにくくなるな。</p>	<p>○感動を十分に伝えられる詩にするための推敲ができるように、自分の感動を伝えるためには、言葉や漢字の間違いを修正するだけでよいかを問いかける。</p> <p>○多面的な視点で詩を推敲できるように、「大詩人のコツ」の他の観点到に基づき、Jamboard に他の言葉や表現を書き、声に出して読み、その表現の変化について確かめるよう助言する。</p> <p>○相手を意識した推敲ができるように、年齢や性格、自分との関係性など、感動を伝える相手のどのような点を意識して修正したのかを問いかける。</p>
<p>3 推敲の方向性について友達と話し合い、その内容を基に再度推敲する。（20分） 【★思考の補助】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「友達のアドバイスを受けて、より感動が伝わる詩にするために、どのように直せばいいでしょうか。」</p> </div> <p>S：校外学習のことを書いているAさんには、色や音など周りの様子を伝える言葉を使うように、アドバイスしよう。</p> <p>S：Bさんにアドバイスしてもらったけれど、「言葉の順序」はこのままでもよさそうだな。でも確かに、「繰り返し」の言葉を使ってみると、自分が強く感動している気持ちが伝わるな。</p> <p>S：お母さんに向けて書いているCさんと違って、私は弟に向けて書くので、「たとえ」を使うとしても、難しい「たとえ」だと伝わらないかもしれないな。</p>	<p>○アドバイスをする方法を把握できるように、友達に「伝える相手」や「一番伝えたいこと」を聞いてからアドバイスするよう助言する。</p> <p>○より相手や目的を意識した推敲ができるように、聞き手には伝える相手の年齢や立場に応じたアドバイスをするよう促す。</p> <p>○友達からのアドバイスを生かせるように、Jamboard の電子付箋機能で交流し、各自で推敲する際には言葉等を比較して検討するよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目（思②）</p> <ul style="list-style-type: none"> • Jamboard の推敲の前後を比較して、「相手により感動が伝わることを意識し、言葉の順序や表現の工夫等に着目した推敲が行われているか」を評価する。 </div>
<p>4 本時のめあてに対するまとめを確認し、学習の振り返りをする。（10分） 【★保存・提出】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><まとめ・振り返り></p> <p>S：感動を伝える相手によって、使う言葉や表現の工夫をする必要があることが分かった。「繰り返し」を使ったら、前よりもっと弟に感動が伝わる詩になったと思う。きちんと伝わるか楽しみだな。</p> </div>	<p>○推敲することのよさを実感できるように、推敲前後の詩を端末上に並べて比較し振り返るよう促すとともに、本時の学習の様子を称賛する。</p>